

▶新しい姿を現した高幡不動駅 10月19日撮影



平成17年度 決算の審査から

今定例会初日、平成17年度決算についての議案が上程されました。議案では一般会計・特別会計の両決算について2つの特別委員会を設置し、平成17年度予算が適正に執行されたか、財政運営は妥当であったかなどについての審査を行いました。

一般会計の歳入決算額は494億2,300万円で、前年度より8.2%の増、対する歳出決算額は474億6,855万円で前年度に比べ10.8%の増でした。歳入決算額が歳出決算額より8.2%の増、対する歳出決算額は474億6,855万円で前年度に比べ10.8%の増でした。歳入決算額が歳出決算額より8.2%の増、対する歳出決算額は474億6,855万円で前年度に比べ10.8%の増でした。

また、特別会計については、歳入総額が486億8,160万円で、前年度比0.8%の減であり、歳出総額は493億5,810万円で、前年度比0.1%未満(6,650万円)の微増となりました。

一般会計及び特別会計決算は、委員会での審査の後、本会議においても慎重に審議を行い、採決の結果、すべて認定しました。各会計の審査・審議状況は後段のとおりです。

一般会計決算

平成17年度一般会計決算特別委員会(委員長・中野昭人委員、副委員長・馬場賢司委員)は、9月19日、20日、21日の3日間にわたって開催し、正副委員長のもと、平成17年度一般会計決算について慎重な審査を行いました。

委員会では、予算執行に見合った行政効果があったか、会計経理上の過誤や不適切な支出がなかったか、財産の管理は適正に行われたかなどについて、述べ47人の委員が140件の質疑や行政への提言・指摘を行いました。

主な質疑は、次のとおりです。

市民税の当初予算額と決算額の差はどういう理由か
情報セキュリティポリシー運用業務とは何か
かしの木荘の有効利用について
介護保険での判定は誰がするのか
ごみの減量化について
日野駅東広場改良整備工事を今後になさす方針について
学校給食における牛乳容器の瓶の使用について
委員会最終日の21日、総括質疑の後、採決を行った結果、平成17年度一般

【総務費】	【商工費】
市内安全パトロール委託事業 1,123万円	観光まちづくり計画策定事業 263万円
【民生費】 日野人四大運動事業ほか健康施策 14億2,643万円	【土木費】 日野駅東広場改良整備工事 2,637万円
【衛生費】 保健師地域保健活動事業 339万円	【教育費】 学校ICT教育環境整備事業 1,037万円
【労働費】 アクティブシニア就業支援事業 1,956万円	学校図書館充実事業 3,892万円

特別会計決算

平成17年度特別会計決算特別委員会(委員長・梅田俊幸委員、副委員長・秋山薫委員)は、9月22日に開催し、正副委員長のもと、7つの特別会計決算について審査を行いました。

審査は、国民健康保険、土地画整理事業、下水道事業、受託水道事業、老人保健、介護保険、市立病院事業の各会計ごとに順次行い、各委員から

会計別	平成17年度決算				
	歳入	対前年度比	歳出	対前年度比	
一般会計	494億2,300万円	8.2%	474億6,855万円	10.8%	
特別会計	486億8,016万円	0.8%	493億5,810万円	0.1%	
内訳	国民健康保険特別会計	132億3,318万円	9.2%	131億9,058万円	9.5%
	土地画整理事業特別会計	44億2,412万円	17.4%	43億6,132万円	17.6%
	下水道事業特別会計	54億1,340万円	7.8%	53億1,617万円	5.3%
	受託水道事業特別会計	14億2,963万円	19.5%	14億2,963万円	19.5%
	老人保健特別会計	102億314万円	2.7%	102億8,785万円	1.7%
	介護保険特別会計	73億8,234万円	6.7%	73億3,696万円	7.5%
	市立病院事業会計	65億9,435万円	0.4%	74億3,559万円	2.3%
合計	981億316万円	4.7%	968億2,665万円	5.5%	

が一般会計決算への意見を述べ、今後の行政運営に反映するよう要請を行いました。その後、採決が行われ、平成17年度一般会計決算は、賛成多数により認定しました。

特別会計決算は、賛成多数により認定しました。

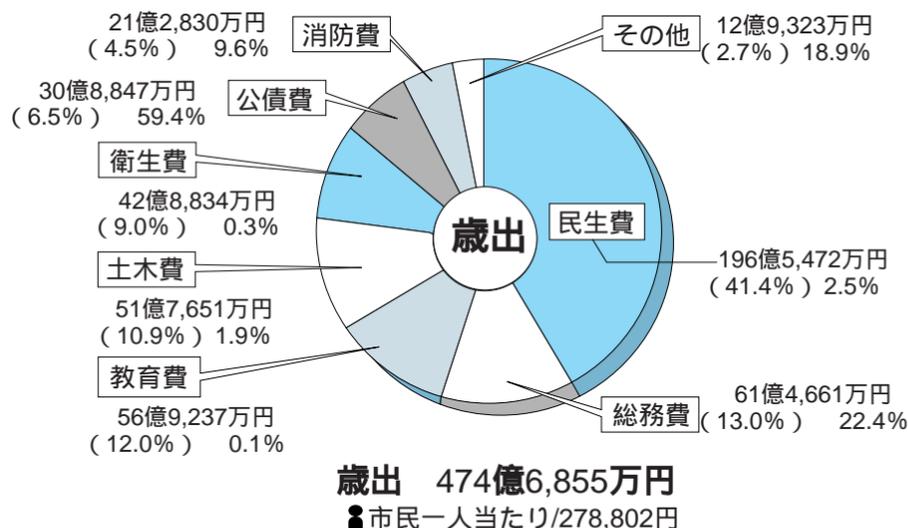
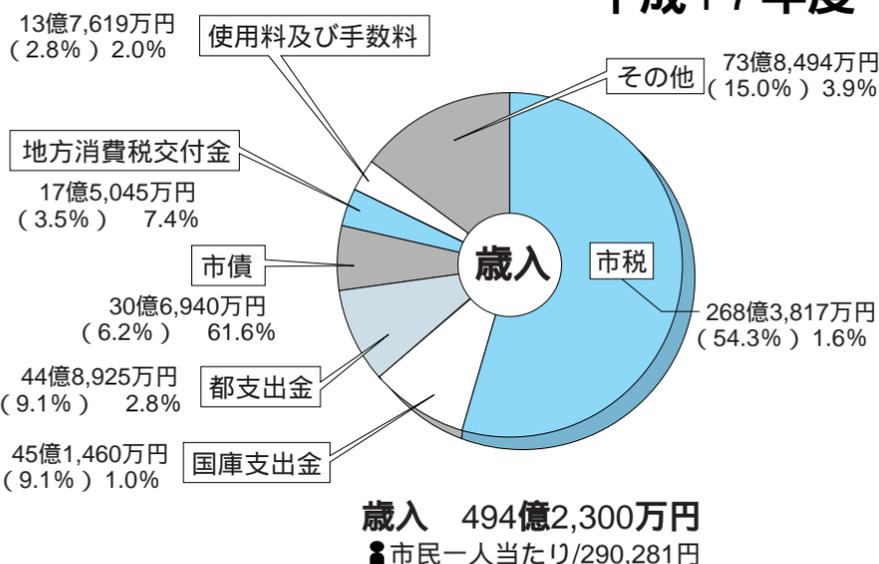
主な質疑は、次のとおりです。()は特別会計名

滞納者の実態はどうなっているのか(国民健康保険)
新都市建設公社により代行買収された土地の買戻し状況について(土地画整理事業)
水洗化率が100%になる

のはいくらか(下水道事業)
委員会では慎重審査の結果、7会計中6会計が全会一致、土地画整理事業特別会計については挙手採決により、「認定すべきもの」と決しました。

定例会最終日の27日、本会議における梅田委員長(審査報告)に対し、委員会の審査結果同様、土地画整理事業特別会計については意見が分かれ、1名の議員より、認定できないという立場から意見が述べられましたが、採決の結果、賛成多数により認定しました。また、その他6会計については全会一致で認定し、平成17年度の各特別会計決算は、すべて認定しました。

平成17年度一般会計決算構成図



()内は構成比、 は対前年比
(平成18年3月31日現在人口; 170,259人)